



有宵会だより

第107号
発行所
特定非営利活動法人
岳易館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-64

九星と易断による 十月・十一月の運勢

気学では戌の六白
十月八日（寒露）節入

天道		
5	1	3
4	6	8
9	2	7
生氣		

気学では亥の八白
十一月七日（立冬）節入

破		
4	9	2
3	5	7
8	1	6
天道		

生氣

「コロナの収束はいつ？」

新型コロナウイルスの脅威は続き、この夏も我が物顔でのさばり、第五波まで到来。コロナ収束はいつになるのか悩ましく、占的・一年内で収まるか」で占うと、地天泰の九二。爻辞は、荒を包ね馮河を用い遐きを忘れず。今はまだコロナ禍中であり、コロナから見ると年内は安泰。泰卦は時間と共に崩れていくので（泰中の否）翌年にまたがることでしょう。

次に「年を越すといつまでか」で占うと、得卦は沢雷随六二。随は元亨利貞であり、六二は小子に係りて丈夫を失う、とする辞。元亨利貞とは易の本質である真実を知ることを表します。随卦は時に従い人に従うとする意味があり、内卦の震は、季節に置き換えると春。我慢と忍耐をすることで、コロナ禍の収束が見えてくるでしょう。

一白水星の人の運勢

十月筮・坤為地六二
十月は平穩に過ごし安心。細かい用事に振り回されても冷静に。仕事の結果は良い。浪費多く困る。視力疲れ、歯の手当。十一月は慎重運。しばらく我慢すれば好転。うまく我慢すれば好転。うまい話にご用心。仕事は停滞しても貫く。家庭は安らぎを与え、人を褒める。足腰重い。柔軟運動。

二黒土星の人の運勢

十月筮・沢雷随上六
十一月筮・雷沢帰妹九四
何事も無理をして損をする。攻めるよりも守りを固めること。仕事は溜まり、肩にかかる。友人との会話は心温まる。金銭運は渋いので地味に暮らす。中旬に貰い風邪。
十一月は諸事もたつきやすいので先手を心がける。本業弱く、乱れず待つ。独りよがりの愛は通じない。貯金に精を出す。

秋の味覚が楽しい。

三碧木星の人の運勢

十月筮・巽為風初六
十一月筮・天雷无妄六三
十月は外より家庭が大事。実家に喜びが。仕事は復調傾向。見栄を張る交際は控えめに。約束は軽率に決めると後悔。水に関して注意。体調無難。十一月。日々の状況に応じて対処。仕事、金運など減退か。思いがけない人との出会い。愛情は濃く深い。足元に注意。

四緑木星の人の運勢

十月筮・山風蠱九三
十一月筮・火天大有六五
十月は新旧が入り交じり。積極姿勢で進めてみると道がつく。骨折り仕事に手を焼く。家庭がらみの出銭と接種問題あり。十一月は日頃の努力が実を結び吉。本筋を外れると不調。仕事の継続でひと安心。謙虚な人柄に評判が良い。利殖話は聞いてみる。軟便頻尿用心。

五黄土星の人の運勢

十月筮・風山漸九五
十一月筮・火風鼎九四
十月。活気は徐々に上

向く。小事ながら願い事成就。仕事は張り切るほどには実がない。新規着手は伸び悩む。金銭警戒。十一月は現状維持に努め、変化を求めず自分の特技を翌月へと繋ぐ。中旬の交渉は物別れ、その他の金運は逃げ腰。老いては子に従う。足腰重い。

六白金星の人の運勢

十月筮・水雷屯六四
十一月筮・山天大畜初九
十月は公私に多忙で気疲れあり。仕事は目標に近い仕上げのみ。人の交わり和を保つ好評。家事は気を緩めずに。腰と股を気遣う。
十一月は急がずゆっくり進める。中旬予期せぬことの処理。仕事は先手取り、中身の充実を図る。家族の中に復調の喜びあり。下旬は諸事好転。

七赤金星の人の運勢

十月筮・沢地萃六三
十一月筮・天沢履九四
十月は何かと調子づくので慎重に。商談や買い物は即決避ける。外からの情報鵜呑みにしない。散財用心。喉風邪に注意。十一月は少しずつ安定。

八白土星の人の運勢

十月筮・地山謙上六
十一月筮・雷天大壮九三
十月は平穩無事。のんびりしたい。人の好意に感謝し一日一善。年輪を重ねた愛に悦びが生まれる。謙虚さで体調吉。
十一月は活気が溢れる。積極的に。三人寄れば文殊の知恵を借りる。仕事では相手に花を持たせて吉。節度を守り福を呼ぶ。体調も良好で快い。

九紫火星の人の運勢

十月筮・山沢損六四
十一月筮・沢山咸六二
十月は上に伸びようと努力する月。下旬に結果を出す。周囲に気遣い、気骨が折れる。仕事は抜けが出るので慎重に。童心に返る喜びと秋の味覚。
十一月は誠実さで公私共に評価され吉。本業一筋で実績上げる。楽しみ事を満喫。広い心を受けば自分も相手も安心を得る。体調など安泰。

七月有宵会報告

金原 玄周

令和三年七月二十四日
(土)、足立区勤労福祉
会館ブルミエにて、第十
二回有宵会定期総会が開
催され、令和二年度の活
動経過報告並びに令和三
年度の活動計画案を福田
有倭先生、八川林加先生、
今中陽子先生より、それ
ぞれ説明をいただきました。
さらに明王山慈恵閣
鬼頭一祥先生による「行
者と占術について」、福
田有宵先生から「姓名判
断の秘訣」(前回の続き)
のご講演がありました。

行者と占術について

明王山慈恵閣

鬼頭一祥先生

★なぜ行者になったのか。
(父(先代)の事や生い立ち
など)

修行を行うものを一般
的に行者といいます。イ
ンドでヨガをやられる方
も行者とよばれているよ
うです。日本では主に山
岳修行をする方が行者と
いうことになるかと思ひ



ます。山伏もまた山岳修
行を行うのですが、行者
と山伏との違いについて
は非常に切り分けが難し
いと思います。

どちらも、主に山岳修
行を行うもので、修行内
容もほぼ同じですので同
義とみていただいてもよ
いと思います。なお、修
験道で有名な奈良の大峯
山ではお坊さんが「山伏」
として修行されており、
私の修行の場として行く
木曽御嶽山では在家の方
が行者として修行してお
りますので地域性もある
のではないかと思います。
私自身は、自己紹介する
際は行者であるとお伝え
しています。

信仰の形態といたしま
しては修験道と両部神道
の流れを汲んでおり、現
在は千葉県の実家にて祈
禱を行っています。また

千葉県夷隅郡大多喜町に
は初代が山を開墾して作っ
た修行道場があり、そち
らの管理もしております。

私の生い立ちと行者と
しての二代目になった経
緯についてお話しします。
初代である父はもともと
一般人だったのですが、
高尾山薬王院の先々代住
職の山本秀順殿下に修験
の得度を頂きました。昭
和三十四年に調布の深大
寺不動堂の堂主として赴
任し、引退までそこで過
ごしました。

父は信者さんに人の道
を説いたり、悩みの相談
に乗ったりする活動をし
ていました。非常に切羽
詰まった悩みをもった方
が多ったようですが、ど
なたに対しても真摯に向
き合っていたと思います。
例えば、信者さんの家族
が交通事故に遭い、これ
から手術なので祈禱をし
て欲しいと夜中の二時三
時に電話がかかってきた
こともあり。父は直
ぐにお堂に入り、夜が明
けても、信者さんから無
事手術が終わりましたと
連絡があるまで祈禱を続
けたこともあります。

一方で護道会という信
者さんとの会を主催して
おり、百人以上の信者さ
んと参拝に行ったり、修
行を行ったりする活動な
ども行っており。一
生懸命修行して信者さん
に向き合った行者さんだっ
たと思います。

私はこのような行者の
家に生まれたのですが、
それこそ私が赤ん坊の時
にお母さんのおっぱいを
飲んでいるその隣の部屋
で父が般若心経を誦経し
ているなかで育ちました。

私が子供の頃、日曜日
になると真つ先に外に遊
びに行きたいのですが、
父からは「般若心経をお
母さんと一緒に五巻誦経
してから遊びにいきなさい
」と言われます。つま
りお経を覚えなさいとい
うことだったのですが、
早く遊びに行きたいので
「般若波羅蜜多…」と
やつついで誦経した思い
出があります。

このような環境の中、
自然と父を師匠として行
者の道を歩むようになり
ました。
平成29年に父が亡くな

り私が二代目となったの
ですが、信者さんからは
初代とよく比較されます。
父は一言でいうと、ブル
ドーザーのような人で、
人が「やんややんや」と
言っても「うるさいっ」と
いつて物事を推し進め
ていくような人でした。

強引な人でしたが、その
ため成し遂げられたこと
も多かったのではないかと
思います。初代として
一人で物事を切り開いて
いかなくはならないとい
うことは、孤独をかか
えながら前に進んでいた、
そういう苦労があったと
今は思います。

一方で、私は父と性格
がまったく異なり、どち
らかという人に寄り添っ
ていたいと思うタイプで
す。先代は「こらっ」と
はつきり叱ってくれたの
に、私は「一緒に頑張ろ
うね」といった感じだす
ので、人によつては物足
りなく思っているのでは
ないでしょうか。

同じ信仰をしていても、
受け取るもの、感じるも
のが違うのではないかと
思います。周易と同様、
同じ卦が出た場合でも、
人によつて受け取り方が

違ったりするのと同じで
はないかと思ひます。親
とは違いますが、自分な
りに頑張つてやつていき
たいなと思ひます。

★木曽御嶽山での修行
について

御嶽山は祖父や父の代
から登拝や修行などご縁
があります。

私自身は初めて御嶽山
を登拝したのは十一歳の
時です、それから三十回
以上は登つています。

今は月詣を行つており、
今年の三月でまる三年を
迎えることができました。
今後も続けていきたいと
思ひます。

大峯山でも修行に行つ
たことがあるのですが、
女人禁制で険しい山の中
を一週間かけて修行をし
ます。野宿をすると熊に
襲われることもありま
すので、一日四十キロメ
ートルもかけて次の宿まで
歩くことがあります。
お年寄りや体力に自信の
ない方が登拝するには難
しい御山かと思ひます。
一方で、御嶽山は八十歳
のお年寄りの方から、女
性の方、子供も含めてい
ろんな方が自分のペース



で登ることができずの
で、すそ野の広い、温かい御山であると感じます。

御嶽山は池と滝が有名です。池は5つあり、全ての池に龍神様がおられ、池それぞれに御神託があるそうです。その中で、二ノ池は日本で一番高い場所にある池として有名な標高二千九百五メートルの場所にあります。以前は山小屋の飲料水やお風呂の水として使用されていましたが、七年前の噴火後、火山灰が池の中に入り込み、水の性質がまったく変わってしまった、残念ながら現在はそれらの用途では使用できない

ようです。

三ノ池は景観の非常にすばらしいところなのですが、そこに行くには二ノ池まで登り、その後標高約二千七百メートルまで降りなくては行けない。急なところを上ったり下りたりしては行けないので、健脚な人でないとその場に行くのは難しいかもしれません。

そこのお水は神水とされて、昔からそのご利益をもとめて行者さんが汲んでいたそうです。今でこそペットボトルで御神水を汲んで持ち帰ることができませんが、昔は重たい一升瓶を持って行ったそうです。一升瓶がない時代には和紙に御神水を染み込ませて持ち帰り、病人の口元で和紙を絞り、一滴でも含ませたいというほど有難いものものだったそうです。

その御神水

は何年たっても腐ること
がありません。水の清らかさもあるのですが、ご祈禱もするので神さまのお力もあると思います。

また、御嶽山は滝も多いところで、約二百の滝があるといわれています。全てで滝行ができるわけではないのですが、いくつかご紹介します。

登山道王滝口の傍の新滝ところではお不動様が祀られています。新滝の近くに清滝というのがあります。落差三十メートルです。かんまん滝では岩に座ったり滝壺の中で立ったりするなど行を行うことができます。百間滝は六合目のところであり、落差四十五メートルで、御嶽山では一番高低差のある滝となります。そこに行くには二時間くらい歩く必要があります。ガイドさんと一緒に道をかき分けないと辿り着けません。

今、ご紹介した滝などで行を行います。時期によって水量が多い少ないがありますし、周辺には雪が残っていたりもします。水が冷たいときは体が冷え切つて動けなく

なることもあります。

滝行は一人でするのでありますが、私が滝行を行ってある間、他の行者さんがお経をあげてくれる助行（すけぎょう）をいただきます。こういう所です。昔の行者さんは何日も籠って行をしていたそうです。

御嶽山は信仰の山なのですが、白装束を来て山に登る方が本当に減りました。私も登山客の方に「かっこいいね」とか「撮影ですか？」などと声を掛けられるのですが返事に困ります。白装束は亡くなったときの衣装ですが、ひとつは生まれ変わる意味合いもあると思います。行に失敗したときは命を絶つくらいの不転の決意を示しているのだと思います。

行者の修行では、滝行、水行などは行の基本と言われている。その他、読経、祝詞を上げるなどのお勤めを各所で、精進齋といって肉食やお酒を断つ、また断食も行います。五穀断ちではお米や豆などの穀物を食

べてはいけないという修行もあります。

五穀断ちには料理に火を使つてはいけないという火物断ちという行を行います。五穀断ちで食べれるものは蕎麦粉、野菜、果物くらいとなり、火物断ちになると調理ができないので蕎麦粉も水で溶いてそのまま飲むといったことをします。そのあとに断食となり、その次は水物断ちといって水も飲んではいけないという行になります。

ただ、水物断ちをするのと命が危うくなりますので、今は行として行っている方はおられないかと思っています。また、おこもり行と言いますが、昔の方は滝の傍にある小屋で千日籠ったりして行っていたそうです。

このように御嶽山は厳しい行をすることで知られておりますが、なぜ、そのようなことをするのかと言いますと、御座という、人に神様が憑いてくださる、神様がおりてくださる為の儀式のためです。

人間には魂があります



が、その魂が一回抜けてそこに神さまがおりてこられ、神様が直接言葉を下さる、そういう儀式があります。

その神様がおりてくる役目をする人が中座とい、その中座になるための行をしなくては行けない。普通の生活をしていたら神様は下がってくれないので、なるべく体の中をきれいに、考え方もきれいに神様に好かれるようにならなくては行けない。そのために、行を繰り返して繰り返して行くことで中座に近づいていきます。私も中座になりたいと思いで行を続けております。

★鳴釜神事について

鳴動護摩、鳴り護摩、釜鳴の法、釜占い、など

とも呼ばれていますが、私の道場でもご祈禱のひとつとして行っておりです。起源は岡山県の吉備津神社ともいわれていますが、私には具体的なことはわかりません。

吉備津神社で使用されているお釜は備え付けの大きなものかと思いますが、私は持ち運びができるような簡易的な小さなものを使用しております。現在使用しているものは伏見稲荷の近くにある神具店で求めたものですが、最近は職人さんがいないようで大事に使っております。

鳴釜神事は修験道の行者さんや、伏見稲荷系の神官の方が執り行うようです。実際の儀式ですが、炭を起こしてその上にお釜と甕を乗せお湯を沸かします、お祓いをして、お経や祝詞をあげます。

神様をお呼びする手法として九字も切ります。お米を甕にまくと法螺貝のような「ボー」といった音になります。それを神様がお下がりになったサインとうけとります。その音は大きかったり小さ

かったり、長短があったり、途中で音が途切れたりもします。音を聞いて感じることはありませんが、私が間違った判断をする

★易を学ぶことについて

福田先生に周易を教わるようになって十五年以上経ちます。行者として、神様が伝えたいことを受け止める努力が必要だと思っております。その神意を受け取る手段として周易を学び始めました。行者さんの中には人を助けるための祈禱と占術との2本立てで活動されている方も多いので、今後

も周易の勉強は続けたいと思っております。

できます。

「二、神事を行わなくても神意を汲むことができます」。神事を執り行うに

は、結界をはったり、供物を用意したりと、準備に時間が必要となります。先ほどの修行の最終目標が御座であること話をしました。私が御座を行うことができるのがいつになるかわかりませんが、信者さんも待つてくれるわけでもありません。そこで、私の場合、お不動様にお願ひし卦を出して神意を汲むようにしています。

「三、細かい相談ができる」。御座の際に神様の言葉として「どここの

方角の病院に行きなさい」といった指示を頂くことはできるので、相談者が期待する細かい質問（例えば、「手術がよいか?」「薬での治療がよいか」など）に答えることはできません。また、中座に神様が憑いている間は、ほとんど呼吸もしていないようで、中座の身体への負担から、神様が憑いている時間にも限界があります。易では、筮前の審時として一時間

でも二時間でもじつくり相談者と話をしたうえで立筮し神意を汲むなど、細かい相談内容にのることができます。

★行者として考えること

インターネットやユーチューブなど色々なメディアを見ますと、社会や人が大きく変わってきていると感じます。

そういった中、信仰をするものとして、「いかにして人を救えるか」「どうしたら救えるのか」ということを微力ながら真剣に考えています。ある時は、信仰の力で何とかしなければと思っても、別な日には占術が有効ではないかと思うなど、なかなか答えが導き出せません。最終的に答を見つけたいと思いますが、行者を続けていますが、極端な話、人の道を外さなければ目の前の人を救えるのであれば方法は何でもよいのではないのでしょうか。信仰でも占術でもポ

ランティアでもなんでもよいと思います。山の頂上を目指すのと一緒で、目的地が一緒であれば、上り口や道が違っていて

もよいのではないかと思えます。「ローソクは身を減らして人を照らす」という言葉があります。これは行者が誰が思っていることだと思えます。私一人で大きく世界を変えることは難しいですが、自分が頑張つて少しでも回りの人を温かくできればと思っております。

最後に、先代の父が主宰していた護道会で父が信者さんに伝えていた教えを紹介いたします。

●心のもち方

- 一、腹を立てるより、ゆるす方がよい
- 二、にくむより、愛する方がよい
- 三、不平を言うより、感謝する方がよい
- 四、ぐちを言うより、喜ぶ方がよい
- 五、りきむより、まかせ
- 六、いばっているより、謙虚な方がよい
- 七、うそをつくより、正直な方がよい
- 八、けんかするより仲よくする方がよい

●人の道

一、忘れてならぬものは 恩義

二、捨ててならぬものは 義理

三、人にあたえるものは 人情

四、繰り返してはならぬものは 過失

五、通してならぬものは 我意

六、笑つてならぬものは 人の失敗

七、聞いてならぬものは 人の秘密

八、お金で買えぬものは 信用

これらは、理解はして出来ていないこと、知つてはいても忘れていること、言われて気が付くこと、短いですがそういった教えたと思います。是非、皆さんの心に留めて頂きたいと思えます。もし鑑定所をお持ちの方は相談者の方の目に留まるようにして頂くとは難しいです。この教えて通じて少しづつでもよい世の中にできればと願っております。

以上、御清聴賜り感謝申し上げます。

※鬼頭先生のご講演では写真や動画を用いて実際



とで終わりましたので、その内容について話したいと思います。

林修（はやしおさむ）

さんは予備校講師やタレントとして有名ですよね。テレビでみると、とても個性的で頭に切れ味がある方です。この方は、口元に特徴がありますね。人は考え事をして閃きを出したい時は、口をつぐんだり、手を添えたりと何等かの動作をします。こういう動作が顔の一部にアクセントとし現れているわけです。人相にはこのような動作が隠されているのです。

の修行や鳴釜神事の様子を紹介いただきました。また、長さ四十五センチ、重さ二キログラムもある大きな法螺貝を実際に吹いて頂きました。講堂中に澄んだ音が響き渡りました。普段、触れることのない行者さんの修行や日頃の思っていることについて、非常にわかりやすく丁寧に説明して頂きました。ありがとうございました。

姓名判断の秘訣

（前回の続き）

福田有宵先生

前回の有宵会の講演では、「名字や名前が一字字の場合、霊数の一を足しますが、これは必要なことなのか」というところ

さて、姓の「林」は八画。名の「修」は十画です。普通は「二字姓、二字名」の四文字の方が多いですが、この方は「一字姓、一字名」となります。

熊崎式姓名学は易を根拠として「三才」すなわち「天・人・地」を取り入れている特徴があります。なぜ姓名学に三才を取り入れたかという問題があります。易は森羅万象を

表し、森羅万象を大宇宙と捉えると、我々の人体は小宇宙となります。生きていくということは大宇宙から生命を頂いているということですので、小宇宙の中に三才が揃わないと意味がつかないことになります。

「一字姓、一字名」の場合ですと、三才が成り立たなくなりしますので、三才をつくる技法が必要となります。そのため姓と名にそれぞれ霊数一画を加えることで二字姓二字名をつくります。

外格は天格の霊数の一画と地格一画を足して二画になります。一方で総画は霊数を加えず実数だけを用いますので要注意です。名前の

表し、森羅万象を大宇宙と捉えると、我々の人体は小宇宙となります。生きていくということは大宇宙から生命を頂いているということですので、小宇宙の中に三才が揃わないと意味がつかないことになります。

「一字姓、一字名」の場合ですと、三才が成り立たなくなりしますので、三才をつくる技法が必要となります。そのため姓と名にそれぞれ霊数一画を加えることで二字姓二字名をつくります。

相談を受けるときは、こういう仕組みを知っておく必要があります。十八画という実数が、人格にあります。総画も十八画になるわけです。

外格は社会性を表し、社会に出てどのような能力をだせるだろうか、外部の人とどのように接するか、と社交交際の面を、この外格の二画でみるわけですね。一画と一画が加わって二画となるため、二画は一に割れてしまうというところで吉数と捉えず、社会では十分な能力を発揮できないと見ます。

二系列の十二画と二十四画も凶数となりますが、三十二画は熊崎式では吉数、霊理派では凶数となっております、この問題はいま

ただ、熊崎式の場合は、実数だけでは本質が現れないと判断することを承知ください。

林修さんの地格は実数では十画、霊数を入れると十一画ですので両方の判断をとるようにします。

だにくすぶっています。

一方で、実数だけを用

いる流派もあります。その流派では実数が事実そのものを示していると思われるわけです。他の流派のことを知っていると、名前をつけた後に起こるであろうことが予想できます。他の流派と比較される場合、名前にケチをつけられることも予想されるわけですね。

ただ、熊崎式の場合は、実数だけでは本質が現れないと判断することを承知ください。

林修さんの地格は実数では十画、霊数を入れると十一画ですので両方の判断をとるようにします。

林修さんの地格は実数では十画、霊数を入れると十一画ですので両方の判断をとるようにします。

天格9（水）
人格18（金）
地格11（木）

総格18

（霊数）
①
林
8
修
10
①
（霊数）
外格2

天格28（金）
人格38（金）
地格18（金）

総格45

佐
7
藤
21
優
17
①
（霊数）
外格8

佐藤優（やまとうまさる）さん。学者さんでもあり作家でもあります。元外務省主任分析官も務め外務省を飛び出た個性的な

いときは、しまったといった顔を爽やかにだせるところがあります。一方で十画からみると、悔しい、そんなはずはないと、くどい一面がでてきます。

林先生の場合ですが、地面を実数の十画でみる場合と霊数を加えた十一画でみる場合では大きな違いがあります。十一画からは、世間に向けて爽やかな対応ができることが見て取れます。クイズ番組でも答えがわからないときは、しまったといった顔を爽やかにだせるところがあります。一方で十画からみると、悔しい、そんなはずはないと、くどい一面がでてきます。

皆さんが判断を求められた場合、実数のもつ主張を判断のプラスとするといいますが、本質をとらえるには霊数を加えた判断が必要となります。霊数を加えた判断は、他の流派からは納得できないところですが、要所をとらえるということで霊数を加えた判断をします。そのうえで、実数から見た判断の違いをどのように表現できるかが重要となります。

方です。姓名の特徴として、三才の天、人、地が全て8系列となっており、天格の二十八画は判断には加えませんが、人格の三十八画、地格の十八画で本人の個性をみます。

八系列は五行ですと金性となります。金性ですと金性ですと、信念がある、勉強・研究熱心、納得するまで極める、論争になると相手に対して文句を言わせないといった非常に強い個性を持っています。

林修さんの場合も人格が八系列ですので金性の意味が出てきます。七までは八系列があると勉強ができ、自分の意見をまげない人です。子供さんがこの系列なら「頑張り屋さんですね」と言っているのとよいですね。

佐藤優さんの「藤」は草冠を六画とみまますので、二十一画となりますが、学校で教える場合は十八画と教えます。草冠を略字化することで最初六画だったのが四画、三画となってきたわけで、このように国の方針で画数が変わるといことになるかと非常に困るわけです。このように画数を使用するこ

とは説得力があるということになります。ただ、本来の画数を用いる方法と略字を使用する場合の違いは今後も研究していかなくてはいいけません。

姓名学というのは、人に名前が与えられるわけですが、そういう子になるわけではありません。赤ちゃんの時は、実体がわからぬ子で、成長してどのような子になるだろうかという判断をすることが姓名学のひとつの方向として捉えるわけです。熊崎健翁先生著の『姓名の神秘』は昭和初期に出版され当時は、當時はすごい評判となりました。名前はすごい、名前は姓名判断でつけなければならぬ、と流行ったわけですが今は変わりましたね。時代の変化、人は変わりつつあるといった流れを姓名学ではどのように判断していくかというのが今後の研究課題になると思います。ただ、なかなか皆さんが研究をしなくなつたのは寂しく感じるところです。

【NPO通信】

◎賛助金ご報告

次のかたがたより、有宵会活動賛助のご寄付を賜りました。皆様からのご厚情に心から御礼申し上げます。

＊令和三年八月十二日現在（敬称略・順不同）

神易館鑑定士有志一同
木村眞理子 堀内憲子

堀内大輔 今中正美
今中陽子 阿部治

大橋初枝 淵上禮子
森本道子 佐藤宗眩

牧野有峰 泰山林翰

＊本掲載は前後する場合がございます。ご了承ください。

◆行事・活動報告

◎各種鑑定会参加

去る八月、江東区が主催する「サマーフェスティバル」において、占いイベントの部門に有宵会からも参加。今夏は、規模を縮小しての開催でした。

＊占いイベントは（二社）日本占術協会様主催。

参加者…佐藤宗眩先生、手塚唯次先生、武田ミコ先生

◆次回・行事予定

【延期のお知らせ】

『検見川神社様 禊行』先の会報でご案内をして

おりました、検見川神社様のご指導による禊行については、緊急事態宣言の再延長等に配慮することとし、神社様側とも協議のうえ、やむなく開催を延期することになりました。すでにお申込みのご希望をいただいている状況でしたが、この様な形のご報告となりましたことを深くお詫び申し上げます。本件については、詳細が決まり次第、再度ご案内させていただきます。

【事務局だより】

■次回例会のご案内

◎日時／令和三年十一月二十三日（火）

＊勤労感謝の日

十一月は、日程が変更となっております！

・時間…午後一時十五分～五時

・場所…足立区勤労福祉会館（綾瀬ブルミエ）第一ホール

・講演内容…「本年の回顧」福田有宵先生

《皆様へお願い》

次回の講演では、今年の回顧にあたり、長引くコロナ禍で厳しい状況の中、どのような判断をし、過ごされたか等について、

福田先生との対談形式で意見交換を行います。ぜひご参加ください。

＊今後も、コロナ禍の感染拡大防止の観点より、例会およびイベントは、直前に変更・中止となる場合がございます。各種情報は、有宵会ホームページ等もご確認ください。

■有宵会例会・議事録内容変更について

有宵会例会の講演内容について、長らくテープ起こし形式でご報告を行って参りましたが、今年度の七月からは、記録担当者の判断による、主要な部分のみに絞ったご報告内容に変更させていただきます。

■占例、体験談等募集のご案内

有宵会では、占例はもちろんのこと、ご自身の様々な体験談をジャンル問わず随時募集しております。外出が思うように出来ないコロナ禍ですが、原稿執筆という形での活動参加も大歓迎です。お家時間を有効活用し、ふるってご応募ください。希望者は、福田有宵先生、佐藤宗眩先生、事務局までご連絡ください。

でご連絡ください。

■【再掲】会員継続手続きについて

◎年会費…八〇〇〇円
◎納入期限…十月末日

今期最終のご案内となります。有宵会へのご継続を希望されるかたは、期限までに年会費の納入をお願いいたします。期限までに何らかのご連絡がなくて、年会費の確認もできない場合は、会報誌等の送付をお止いたします。なお、随時個別のご相談をお受けしておりますので、ご事情のあるかたは事務局または、福田有宵先生までご連絡ください。

■令和三年七月度例会参加者

七月度の例会は、四名のかたがご参加されました。（懇親会は中止）

九月も半ばを過ぎ、金木犀の香りが今年後半の到来を告げているかのよう感じる頃ですが、お変わりありませんでしょうか。ぜひ、皆様からの近況報告をお待ちしております。
事務局長 八川林加